

＜巻頭言＞

「特別支援教育ほっかいどう」第30号の発刊に当たり

北海道立特別支援教育センター

所長 柏 木 拓 也



北海道立特別支援教育センター（以下、「本センター」という。）では、本道の特別支援教育のより一層の理解と推進に向け、これまで本誌の発刊を通して道内の特別支援教育における先進的な取組等を紹介しており、本号をもって第30号（通巻74号）の発刊となります。平成15年に創刊号を発刊してから21年目となる本号では、「本道の特別支援教育における取組の充実」をテーマに、特別支援教育の施策と関連する事業や本センター事業に関わる3つの特集を取り上げています。

特集1では、「通級による指導の充実に向けて」と題し、道教委の「通級による指導及び『効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業』」の概要を説明しているほか、通級による指導を担当している教員からの情報提供を基に、学校現場での指導や日々の取組の実際について紹介しています。

特集2では、「医療的ケアの充実に向けて」と題し、本道における医療的ケア児の現状について触れ、道教委の「特別支援学校における医療的ケア実施のための外部委託検証事業」の概要を説明しているほか、本事業での検証を通して明らかになった成果と課題について紹介しています。

特集3では、「特セン事業の紹介」と題し、特センの研修事業の一部であり、学校や市町村教育委員会、教育関係団体の依頼に応じ、特別支援教育に関する専門性向上や地域の取組の充実を支援する「研修支援」について紹介しているほか、特別支援学校の経験の浅い先生の資質能力の向上に資するよう作成した「特別支援学校教員スタート・プログラム」の内容や、プログラムの活用に向けた取組を紹介しています。

本道においては、国の動向や今後の方向性を踏まえながら、誰もが生き生きと活躍できる共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの理念の下、特別支援教育を着実に推進し、全ての子どもたちが障がいの有無にかかわらず、多様な個性を互いに認め合い、支え合いながら、共に学んでいくことができる環境を整えていくことが求められています。

各特集記事をお読みいただいたことにより、本道の特別支援教育における最新の施策（事業）について本誌の読者の皆様にご理解いただくとともに、各学校や地域における取組の一層の充実につなげていただけたら幸いです。